

第 49 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会①）

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和6年11月6日（水）10：00 ～ 12：00
- 場 所：JR 東日本現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授）
委員	・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ 東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・ 東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・ 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・ 鉄道博物館 学芸部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部
事務局 東日本旅客鉄道(株) 京浜急行電鉄(株)	・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 他
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

- 当日配布資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料1：第48回委員会（10/2）部会②議事録案

- ・ 資料2：第48回委員会（10/2）部会③議事録案

2) 部会①

- ・ 次第
- ・ 資料1：TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6街区）の確認調査報告

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 49 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

(2) 議事録確認

1) 第 48 回委員会 (10/2) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 48 回委員会 (10/2) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会①

(1) 開会

- 第 49 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会①を開会する。(事務局 JR)

(2) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア (5・6 街区) の確認調査報告について

- 資料 1 について説明する。(港区)

<説明概要>

- 11 月 1 日時点の調査報告としてトレンチ 2～9 の報告をする。
- トレンチ 2～7 のオルソ画像に引く赤線が今回の調査で確認された築堤の海側石垣の最上部である。
- トレンチ 8・9 では開業期と複線化期の土層の境目を確認した。
- トレンチ 7 の張り出し遺構は 4 街区の信号機土台部と構造が似ているが、こちらはまだ信号機の基礎は確認されていないので、現状では何の構造物かはわかっていない。今後部分的に掘削を進めて明らかにしたい。
- 今後はトレンチ 1 の掘削とトレンチ 7 の追加調査を進めていく。
- トレンチ 7 の追加調査は可能な限り協力をする。元々の調査目的はこうした他の街区でも見られるような一般断面とは異なるこのような構造物を発見することにもある。(JR)
- まだ調査中で所見がまとまったわけではないが、確認調査は順調に進んでいると理解を

している。今後も着実な調査を行い、情報を委員会に伝えてもらいたい。（委員長）

（３）その他

- TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（５・６街区）確認調査速報を作成した。この速報を 11 月 8 日（金）に港区立郷土歴史館のホームページに掲載する予定である。掲載する際にホームページ上で５・６街区の調査に至る経緯を簡単に説明する。また、これを受けた見学会を 12 月 8 日（日）・9 日（月）に行う予定であり、JR と調整している。見学会実施の予告も今後行う予定である。（港区）

＜全体会・部会①・部会②・部会③終了後＞

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
 - ← 部会①について、５・６街区の調査を港区にしっかり進めてもらいたい。部会②の東海道旧護岸は、保存状態から考えて記録保存でやむを得ない考える。（文化庁）
 - ← 文化庁と同意見であり、特に付け足すことはない。（東京都）
 - ← 部会①について、11 月 8 日に公開予定の確認調査速報について補足する。確認調査報告資料について「JR 東日本の協力を得て」という文言を追記すべく、資料内容を調整する。調査主体は港区教育委員会だが、令和 3 年 5 月 11 日に「現地保存を考慮した開発計画を要望する」という要望書を提出している立場で、見学会を主催する。発見された築堤が今後残るのかどうか、といった問い合わせにどう回答するか、非常に心配しているところである。先日、４街区のまちびらきについてプレスリリースもされ、プロジェクト全体への関心も高まっており、そのような中で 12 月 8・9 日に見学会を実施すべく、JR と調整中である。見学会のプレスリリースも次回委員会までに調整したく、この 1 カ月は非常に重要な局面であると考えている。（港区）

（４）閉会

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局 JR) 第 49 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局 JR) 2つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局 JR) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会①

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6街区）の確認調査報告について

- (港区) 資料 1 について説明する。11 月 1 日時点の調査報告としてトレンチ 2～9 の報告をする。トレンチ 1 は 11 月 5 日から掘削を開始しているので今後報告する。トレンチ 2～7 のオルソ画像に引く赤線が今回の調査で確認された築堤の海側石垣の最上部である。築堤の海側石垣の頂部のラインは、過去の仮斜路部の調査の発掘結果とも一致する。仮斜路部と同様に全ての築石が綺麗に残っているわけではなく、頂部の石が部分的に残っている状況だった。トレンチ 8・9 では開業期と複線化期の土層の境目を確認した。また、本日の委員会の前に視察いただいたトレンチ 7 の張り出し遺構は 4 街区の信号機土台部と構造が似ているが、こちらはまだ信号機の基礎は確認されていないので、現状では何の構造物かはわかっていない。今後はトレンチ 1 の掘削とトレンチ 7 の追加調査を進めていく。
- (委員長) 質問、意見はあるか。

- (JR) トレンチ7の追加調査は可能な限り協力をする。元々の調査目的は他の街区でも見られるような一般とは異なるこのような構造物を発見することにもある。
- (委員長) まだ調査中で所見がまとまったわけではないが、確認調査は順調に進んでいると理解をしている。今後も着実な調査を行い、情報を委員会に伝えてもらいたい。
- (委員長) 他に何かなければ、次に進める。

(3) その他

- (委員長) その他は何かあるか。
- (港区) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア(5・6街区)確認調査速報を作成した。この速報を11月8日(金)に港区立郷土歴史館のホームページに掲載する予定である。掲載する際にホームページ上で5・6街区の調査に至る経緯を簡単に説明する。また、これを受けた見学会を12月8日(日)・9日(月)に行う予定であり、JRと調整している。見学会実施の予告も今後行う予定である。

<全体会・部会①・部会②・部会③終了後>

- (委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。
- (文化庁) 部会①について5・6街区の調査を港区にしっかり進めてもらいたい。部会②の東海道旧護岸は、保存状態から考えて記録保存でやむを得ないと思う。
- (東京都) 文化庁と同意見であり、特に付け足すことはない。
- (港区) 部会①について、11月8日に公開予定の確認調査速報について補足する。確認調査報告資料について「JR 東日本の協力を得て」という文言を追記すべく、資料内容を調整する。調査主体は港区教育委員会だが、令和3年5月11日に「現地保存を考慮した開発計画を要望する」という要望書を提出している立場で、見学会を主催する。発見された築堤が今後残るのかどうか、といった問い合わせにどう回答するか、非常に心配しているところである。先日、4街区のまちびらきについてプレスリリースもされ、プロジェクト全体への関心も高まっており、そのような中で12月8・9日に見学会を実施すべく、JRと調整中である。見学会のプレスリリースも次回委員会までに調整したく、この1カ月は非常に重要な局面であると考えている。

(4) 閉会

- (委員長) 特になければ部会①を閉会し、部会②に進める。

以 上